

第 2 次札幌市環境基本計画 骨子（たたき台）

1. 環境を取り巻く社会的動向の変化¹と札幌市の課題

（1）社会的動向（背景）

国際的な動き

地球温暖化・エネルギー

- ・国連気候変動枠組条約第 21 回締約国会議（COP21）
- ・台風や暴風雨などの異常気象の可能性（都市の安全性）
- ・水素社会への転換

・IoT（Internet of Things）、スマートグリッド等の技術革新

生物多様性の損失（愛知目標）、PM2.5 等の新たな環境問題

国連 SDGs（Sustainable Development Goals）の採択

国内の動き

東日本大震災の発生

人口減少・少子高齢化

（2）社会的動向（札幌市）と課題

社会情勢の変化

人口減少と少子高齢化、コミュニティの希薄化

景気動向の変化（エネルギーコスト）、環境関連企業の動向

札幌市の都市構造

奥定山溪の広大な森林や円山・藻岩山等の天然林など豊かなみどり

人口約 195 万人の大都市（政令指定都市で 4 番目の人口）

市街化区域の緑被率は他の政令市と比較して高くない

気象と気候変動

札幌市における気温の変化と気象変化

温室効果ガス排出量の推移

- ・家庭・業務部門の CO2 排出量の増加
- ・冬期間のエネルギー需要（CO2 排出量）の大きさ
- ・自動車依存型の移動（ライフスタイル）
- ・泊原子力発電所の稼働停止と東日本大震災後の省エネ対策

廃棄物

家庭ごみ新ルール適用前後の排出量推移

生物多様性や自然環境の状況

環境への市民意識の変化

「環境首都・札幌」宣言（2008 年）

札幌市まちづくり戦略ビジョン、第 2 次札幌市都市計画マスタープラン等の策定

健康で安心な生活環境の確保

大気、土壌、水質、騒音・振動、化学物質

2. 札幌市の環境の特徴と課題

→別紙参照

資料 4 で議論

3. 基本理念と将来像（目指す姿）

→別紙参照



4. 環境首都 SAPPORO(仮)を実現するための 4 つの柱

→別紙参照

資料 5 で議論

5. 分野別の施策の方向性

→「4. 環境首都 SAPPORO(仮)を実現するための施策の柱」を踏まえて、それぞれの柱における 2030 年度までの目標と施策の方向性を記載

（内容については、本会議を踏まえ、各部会で議論を行う）

（例）低炭素社会の実現

【目標：2030 年度に市内から排出される温室効果ガスを 1990 年度比で 25%削減】

○徹底した省エネルギーの推進

→高断熱・高気密住宅・建築物の導入推進、新築住宅・建築物における ZEH や ZEB の標準化、コージェネレーション等分散型電源の導入促進、等

○大幅な再生可能エネルギーの導入

→・・・

<以降は、計画骨子作成後に検討>

6. 環境首都 SAPPORO(仮)の実現に向けた先導プロジェクト（重点プロジェクト）

→「3. 環境首都 SAPPORO(仮)の目指す姿」や「4. 環境首都 SAPPORO(仮)を実現するための分野ごとの推進施策」、また次年度以降の事業展開を踏まえて、札幌市において重点的に進めていくプロジェクトを位置付け

7. 環境首都 SAPPORO(仮)の実現に向けた推進体制とロードマップ

→「5. 分野別の施策の方向性」や「6. 環境首都 SAPPORO(仮)の実現に向けた先導プロジェクト（重点プロジェクト）」を踏まえ、推進体制と 2030 年までの目標に向けたロードマップを記載

¹ 前回改定からこれまで、過去 10 年程度の動向（2006～2016 年）